「ガンコ親父の不要の「要」に乾杯!!」

夏は暑いに決まっているが、それにしても暑い。松次郎は昨夜、夏は家の中が整理されていないとイライラするので、盆前に不要なものを処分したり、整理・整頓を徹底的にやろうぜ、とみんなに言い放ったのだった。ご先祖様に笑われないように、と。

本当は一緒に住んでいる次男坊である学(まなぶ)の「片付けられない悪い癖」を少しでも直そうと思い、そこから出た言葉だった。嫁の花菜(かな)に甘えて、散らかし放題なのを松次郎は知っていた。情けない性格だが、もう子供持ちの立派な大人なのだから、昔のようにゲンコツをくれてやるわけにはいかない。

しかし、学に対して当て付けがましく言ったはずのその言葉は、なんと松次郎の心にブーメランのように返ってきたのだった。玄関の下駄箱には松次郎のくたびれ果てたままのジョギングシューズが眠っているのを思い出したからだ。

可愛い息子嫁が義理の父の健康のために と最初にくれたプレゼント靴を、感激した松次郎は雨の日も風の日も、毎朝履いて走った。その靴には息子嫁の思いと自分の毎日の頑張りの歴史が詰まっている。

今は自分で買った二代目をを履いているし、その靴は不要であるはずだが、どうしても捨てることができそうにもない。さあ、困った。松次郎はため息をついた。そして「整理整頓宣言」を発した自分を呪った。

その夜、松次郎は妻の貴代から「学がアナログのレコード盤も聴ける多機能プレーヤーを買ったんだって。居間においてもいいかって、言ってたけど」と声をかけられた。『しまっちゅ伝蔵』を飲んでいた松次郎は、その言葉に、はっと我に返った。レコードも聴けるプレーヤーだなんて。学の奴、俺がLPレコードを捨てられないのを知っていて、嫌味なことを。それも自分たちの部屋じゃなくて、みんなが使える居間に置いてもいいか?だって。俺への当てつけか。

松次郎は少しイラっとした。

「学はやっぱりあなたの子ね」と貴代は領いた。「あの子の片付けられない病はあなたの遺伝子なのよ、きっと」。自分が気に入ったものは、とことん最後まで大切にしようとするのが二人の共通点だわ、困った性格でもあるけど、と貴代は笑った。

少ない小遣いの中からプレーヤーを買ってくれた息子のことを思うと、腹立たしさも消えていった。陰では、親のことを大切に思ってくれているのだ、奴は。知らないうちにいい大人になったものだ。この息子の行動と成長した姿を、ご先祖様にも報告しなければと思った瞬間、不覚にも目頭が熱くなった。

涙を見られるのが嫌な松次郎は「悪いけど、早く水割り用の氷を持ってきてくれ」と焦って言った。「はい、はい」と貴代は返事をしたが、「はい」は一回でいいと、いつものように松次郎の大きな声が響いた。うるさいけれど一家には「必要」な声であった。

奄美黒糖焼酎

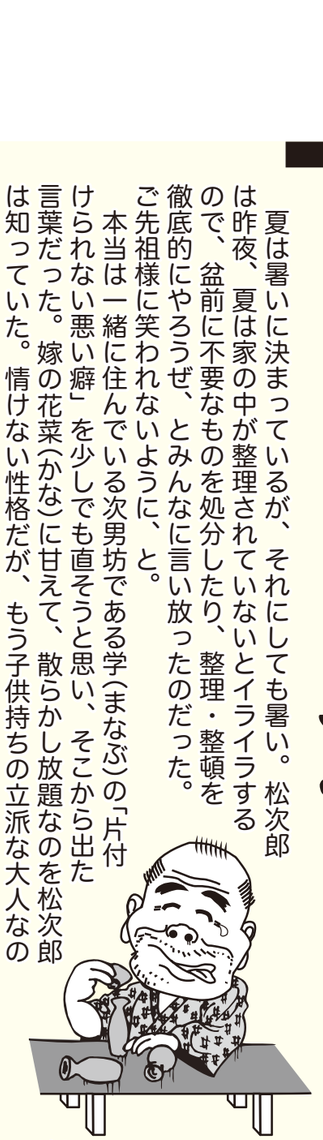
しまっちゅ伝蔵(でんぞう)

常圧蒸留

900mℓ(25度) 1800mℓ(25度) 1800mℓ(25度)

昔ながらの手造りこだわり焼酎

喜界島の豊沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。



好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造㈱は、この活動を応援しています。

the most beautiful villages in japan
喜界町
鹿児島県

くろちゅう
喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12
☎0997(65)0251

http://www.kurochu.jp お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。

月極管理パート2→喜界島酒造フォルダ→喜界17-08-13付-制作/松元